

通高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究 hter-university Upper atmosphere Global Observation NETwork

IUGONETメタデータ・データベース の使い方

平成25年度国立極地研究所研究集会 太陽-地球大気の地上多点観測データ総合解析ワークショップ

平成25年8月21日

場所: 国立極地研究所

梅村 宜生(名大STE研)



アジェンダとねらい

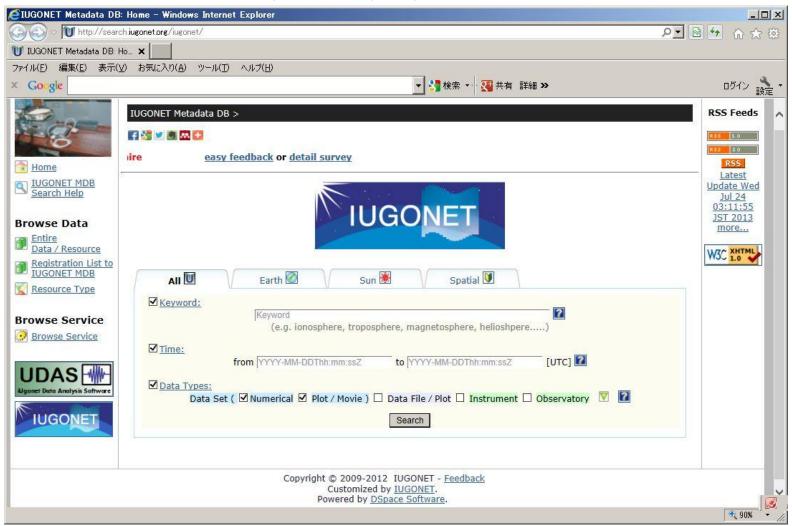
No.	区分	時間	アジェンダ	ねらい
1.	説明	5分	メタデータDBについて	メタデータDBの仕組みについて理解する
2.	実習	5分	まず使ってみる	メタデータDBの基本的な使い方について 理解する
3.	実習	10分	詳細検索をしてみる	目的の地上観測データにたどりつく
4.	体験	5分	横断的検索を体験して みる	メタデータDBを取り巻く環境について 知っておく
5.	質疑	5分	質疑応答	

本スライドでは、メタデータ・データベースを メタデータDBと略記します。



1.1. メタデータDBの外観

URL: http://search.iugonet.org/iugonet/

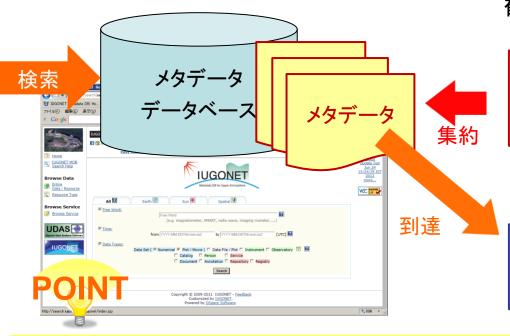




1.2. メタデータ、メタデータDBとは?

・メタデータDB

メタデータを集約したもの



・メタデータ

観測データそのものではなく、 観測データに付帯した情報



e.g.

観測場所、観測機器 観測開始・終了日時 観測データの所在情報



e.g.

数字の羅列 画像、映像

- → IUGONET参画機関と協力機関が所有する観測データに関するメタデータを、1度の問い合わせ(1クエリー)で横断的に検索することができる。
- >> メタデータを介して、様々な観測データに到達することができる。



1.3. なぜメタデータDB?解析ソフトUDASとの違い

	メタデータDB	解析ソフトUDAS
定義、目的	データを <mark>発見、知る</mark> もの	データを <u>描画、解析</u> するもの
使うデバイス	インターネットブラウザ	UDAS
知ることのできる情報	地上観測データの詳細な情報 - 観測データの説明 - <u>観測データの所在情報</u> - 観測日時 - 観測場所(緯度、経度) - 観測所情報、観測機器情報 - コンタクト先 etc	物理量の時間的変化、相関 (観測データの所在情報は、UDASIC よって自動的にセットされる)
扱うデータ	デジタルデータ、 <u>アナログデータ</u>	デジタルデータ





- ・メタデータDBに保存されている観測データ所在情報を解析ソフトに渡して 描画する(開発中)
- ・UDASは、メタデータDBに問い合わせて観測データの所在情報を取得する

など、メタデータDBと解析ソフトUDASは相互に連携している



IUGONETメタデータDBを使ってみましょう

インターネットブラウザを起動して、 下記のURLにアクセスしてください。

http://search.iugonet.org/iugonet/

> ユーザ登録は不要



誰でも自由に、メタデータDBを使い、メタデータを検索・参照することができる。もちろん無料。

- ▶ 地上観測データを使う場合は、その提供機関の指示に従う メタデータの Acknowledgement 欄に記載されている事項を守る
 - (例) ・ 事前にコンタクトをください
 - ・論文のリファレンスあるいは謝辞に記述してください
 - ・ 非営利の研究目的に限ります など



2.1(a) まずは検索してみる

ワード例「EISCAT」を入力 Sun 🍥 Earth 🕙 Spatial 🔰 AII U ✓ Keyword: EISCAT (e.g. ionosphere, troposphere, magnetosphere, helioshpere....) ✓ Time: [UTC] to YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ from YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ ✓ Data Types: Data Set (🗹 Numerical 🗹 Plot / Movie) 🗌 Data File / Plot 🗀 Instrument 🗀 Observatory 💟 🔟 ☐ Catalog ☐ Person Service □ Document □ Annotation □ Repository □ Registry Search

「Search」ボタンを押す

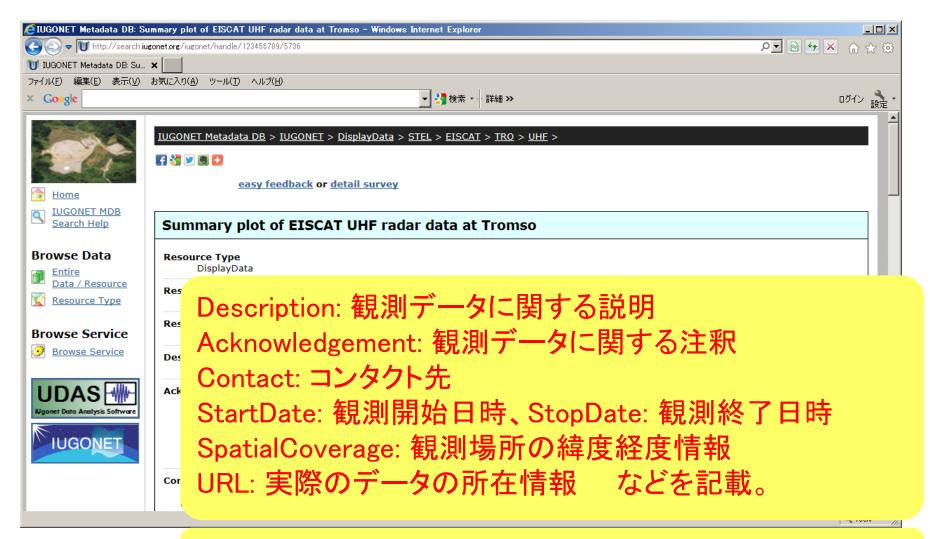


2.1(b) 検索結果一覧画面の見方





2.1(c) メタデータ詳細画面の見方



関連する他の情報(メタデータ)へたどることも可能。



2.2(a) データ区分を指定した詳細検索



All	すべてのメタデータを対象に、シンプルなフォームで検索する
Earth	超高層大気データのメタデータに対象を絞り、詳細なフォームで検索する
Sun	太陽画像のメタデータに対象を絞り、詳細なフォームで検索する
Spatial	観測ネットワークの図から、メタデータを直感的に得る(後述)



2.2(b) Data Type を指定した詳細検索

✓ Data Types:	
Data Set (☑ Numerical ☑ Plot / Movie) ☑ Data File / Plot ☑ Instrument ☑ Observatory	?
☐ Catalog ☐ Person ☐ Service	
☐ Document ☐ Annotation ☐ Repository ☐ Registry	





Data Type とは、メタデータの種別 (別名: Resource Type)

◎印はよく使うもの

Numerical	数値データのデータセット ◎	Person	研究者、コンタクト先などの「人」◎
Plot / Movie <u></u> *1	画像・映像データのデータセット◎	Service	タスクの実施場所(仕事場所)
Data File / Plot ※2	観測データ(そのもの) ◎	Document	ドキュメント類
Instrument	観測機器 ◎	Annotation	注釈事項
Observatory	観測所 ◎	Repository	実データDB
Catalog	観測におけるメモ等	Registry	リソースが作成された場所

- ※1 画面上では直感的に分かりやすいよう「Plot / Movie」と表記。本来の名称は「DisplayData」。
- ※2 同上の理由で「Data File /Plot」と表記。本来の名称は「Granule」。



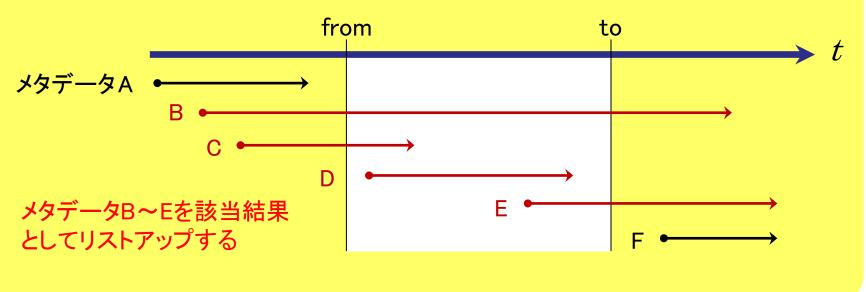
2.2(c) 観測開始・終了日時を指定した詳細検索

(「All」タブ、「Earth」タブ、「Sun」タブ共通)

From YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ to YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ [UTC]

観測開始日時(from)と、観測終了日時(to)を入力

【参考】入力値とメタデータにおける観測開始・終了日時の関係について





2.2(d) 緯度・経度を指定した詳細検索



観測地の緯度と経度を指定

[view map] アンカーを押すと、地図を表示して視覚的に緯度と経度を指定できます。



2.2(e) 画像種別を指定した詳細検索



- ●FullDisk: 全面画像、PartialRegion: 部分画像を指定 (どちらも選択しなかった場合は両者有効)
- ・画像の左端がEast, 右端がWest であるのに合わせ、視覚的に分かり やすいように、フォームの位置を反転



2.2(f) ResourceIDを使った一意検索、階層検索

ResourceIDとは、メタデータを一意に識別するためのID。



- (例) spase://IUGONET/DisplayData/STEL/EISCAT/TRO/photometer/summary_plot
 - (1) (2) (3)

- (4)
- (5)
- (6)

(1)	メタデータのスキーマを示すURI接頭辞(固定)	(4)	研究機関コード
(2)	ResourceIDのルート名(固定)	(5)	データグル一プ
(3)	メタデータ種別 (ResourceType)	(6)	データ名

ResourceIDは、階層構造に基づいて定義されている。



一意検索、階層を指定した検索(Windowsでいう「ディレクトリを指定して検索」 のようなやり方)も可能。

ResourceIDを検索キーとして使うと、目的のメタデータ、地上観測データに素早く到達することができる。



2.2(f) ResourceIDを使った一意検索、階層検索

★MASTER

キーワード欄に「ResourceID:」に続けて具体的なResourceIDを入力する(前方一致) (「spase://」のコロンの前に、エスケープ文字「¥」を挟む) Sun 🍥 AII 🛈 Spatial 👤 Farth 🕙 ▼ Free Word: ResourceID:spase\(\frac{\pmathbf{\pmathbf{\text{\text{ResourceID:spase}\(\frac{\pmathbf{\text{\tint{\texi}\text{\text{\texi}\tex{\texit{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\text{\text{\text{\t (e.g. meteor radar, MF radar, SuperDARN, EISCAT.....) ✓ Data Types: Data Set (☑ Numerical ☑ Plot / Movie) ☑ Data File / Plot ☑ Instrument ☑ Observatory ☐ Catalog ☐ Person Service ☐ Document ☐ Annota Repository Registry Data Type に矛盾がないように指定(p.11参照)



(参考-1) おすすめの検索フロー





データセットを指定

✓ Numerical ✓ Plot / Movie

観測機器を指定

✓ Instrument

観測所を指定

Observatory

入口を3つに絞っておくと分かりやすい

- → 緯度経度
- ₩ 観測日時

etc..

検索結果

(メタデータ)

外部サイト

(実データ)

★MASTER

目的のデータに狙い撃ちでたどり着く!

観測データを指定

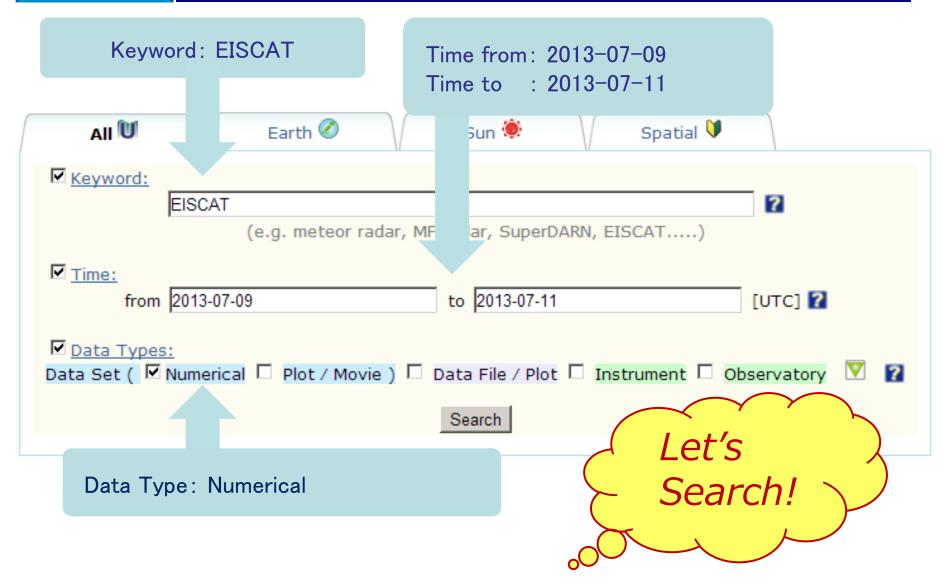
☑ Data File / Plot



検索結果(メタデータ)



(参考-2) EISCAT地磁気データの検索例

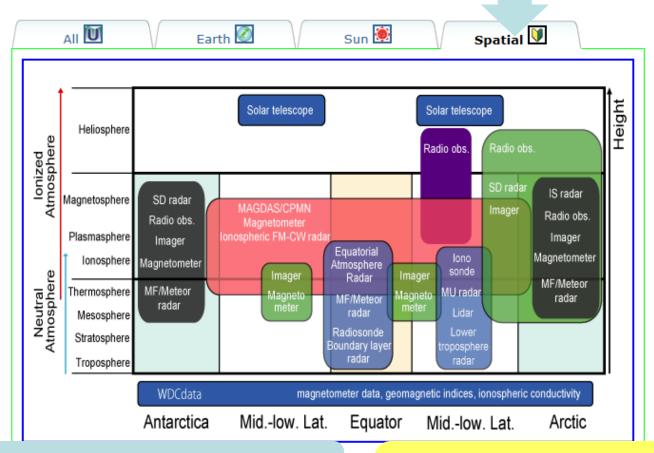




2.3(a) 観測ネットワークの図から参照



「Spatial」タブを選択



図中の観測機器名称をクリック

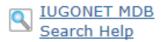
メタデータを直感的に知りたい ときに便利!



2.3(b) リストから参照

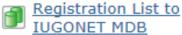






Browse Data

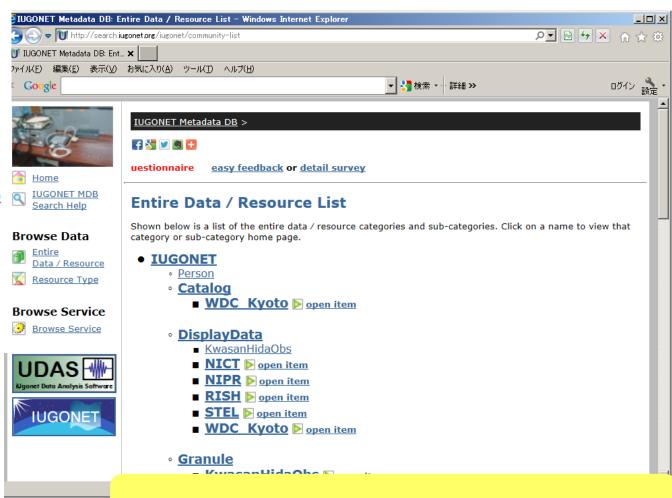






Browse Service

Browse Service



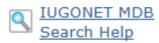
メタデータの一覧を見たいときに便利!



2.3(c) 観測ネットワークの一覧表から検索







Browse Data



Registration List to IUGONET MDB



Browse Service





表中のアンカーをクリック

どのようなメタデータが登録されているかを知りたいときに便利。



2.3(d) ヘルプ動画 🔰





Home



IUGONET MDB Search Help

Browse Data



Entire Data / Resource



Registration List to



Resource Type

Browse Service



Browse Service



使い方を動画で紹介!



(参考-3)検索ワードの指定例

検索方式	フォームへの入力例	説明
AND検索	magnetogram kyoto または magnetogram AND kyoto	単語の間に半角スペースを入れる または 単語の間に半角大文字で AND を入れる
OR検索	magnetogram OR kyoto	単語の間に半角大文字で OR を入れる
ANDとORの 組み合わせ	EISCAT (NIPR OR STEL) または EISCAT AND (NIPR OR STEL) など	半角カッコを付けて入れ子にする
固定文字列検索	"magnetogram kyoto"	固定文字列を半角ダブルクォート(")で囲む
特定ワードの除外	STEL -EISCAT	除外する単語の前に半角マイナス(-)を付ける

検索方式	フォームへの入力例/説明
一意検索	ResourceID:spase¥://IUGONET/Granule/STEL/Induction/ATH/induction/64hz_ergsc_cdf/st el_induction_ath_2010032623_cdf
(説明)	ResourceID: に続けてResourceIDの文字列を入力する。 ※ このとき、spase:// の部分は¥マークを入れて spase¥:// のようにする。
階層検索	ResourceID:spase¥://IUGONET/Granule/STEL/Induction/ATH/induction
(説明)	この階層下にあるメタデータをすべて表示する。
階層と 検索ワードの 組み合わせ	ERG ResourceID:spase¥://IUGONET/NumericalData/STEL ERG magnetometer ResourceID:spase¥://IUGONET/NumericalData/STEL など
(説明)	この階層下にあり、かつ、指定した単語を含むメタデータを検索する。



3.1. メタデータDBと他システムの連携

その1: 他システムとの連携 **IUG ONET** Metadata DB (HTML) IUGONET (XML) Case. インターネットブラウザで閲覧 超高層大気データ UDAS 他システム iUgonet Data Analysis Software Case. 解析ソフトと連携



横断的検索を体験してみましょう

下記のURLにアクセスしてください。

http://iugonet1.stelab.nagoya-u.ac.jp/cs_search/



- ▶ 横断的検索とは?
 - 1回の操作で、複数の対象から結果を得ること。
- 横断的検索ができると、どのようなメリットがある?
 - 同分野であれば、より多くのデータを得ることができる
 - 異分野であっても、関連するデータや情報を得ることができる。
 - それが社会的にどうあるかなどの把握もできる など。

新たなデータの発見

多角的アプローチ

学際的研究の加速



さいごに

- メタデータDBに関するご意見をお待ちしています。
 - こういう機能が欲しいなあ・・・
 - 使い方が分からないところがあり、教えて欲しいなあ・・・
 - あれ?このメタデータ間違っている気がするなあ・・・

など、メタデータDBトップ画面の「feedback」からお寄せください。

